エンジョイ！バレーボールフェスティバル2026 全国大会 神奈川県予選会の注意事項

＜大会運営上の注意＞

１．入場について

① 入場の際は、役員の指示に従い入場する。

② 入場者はチームで必要な除菌・消毒剤を用意し、感染症対策に努める。

③ 入場者は安全管理上、名札かワッペン、リボン、揃いのシャツ等を着用する。（選手を除く）

④ 体調が優れない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある）は入場を控える。

⑤ チームごとに決められたエリアを控え場所とする。

２．応援・控え場所について

① 鳴り物（太鼓、ラッパ、ペットボトル・メガホンを叩く等）を使った応援は認めない。

② メガホンによる声の応援は認めるが、通常サイズ（概ね30㎝程度まで）のものに大きさを制限する。
なお、スティックバルーンは鳴り物に該当せず、使用を認める。
ただし、試合コートのフロアで応援する場合は、メガホン・スティックバルーンの使用は禁止する。

③ のぼりや横断幕は、試合をしているチームのみが掲示できる。開会式ではどのチームも掲示できない。また、自チームの試合終了後は速やかにのぼりを倒し、横断幕を外すこと。

④ 控え場所の最前列は使用せず、応援のために空けておく。

⑤ 食事は決められたエリアで行なう。

⑥ 退出時には、利用場所をチームで確認し、ゴミ等は持ち帰る。

３．大会１日目の進行は、参加チームの協力によって行なう。

４．上記以外の運営に関することについては、各会場の運営責任者の判断による。

＜競技上の注意＞

１．本大会は、2026年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める６人制の競技規則による。ただし、別に定める小学生バレーボール競技規則に則り行なう。

２．試合は３セットマッチ追い込み方式とする。

① 試合が連続する場合は最大15分の休憩をとるが、状況により大会本部が決定する場合がある。

② 昼食の時間も、原則的に一斉には取らない（試合進行状況による）。

③ 大会運営上、試合順やコートが変更する場合がある。

３．試合前の公式練習は、有効な構成員（登録された監督・コーチ・マネージャーと選手12名）で行う。

４．監督・コーチ・マネージャーは胸章を必ず左胸につける。

５．監督・コーチ・マネージャーは、必ず同じ色彩の、襟付きシャツまたはＴシャツ・長ズボンを着用する。半ズボン・タンクトップシャツは不可。なお、スーツ・ネクタイの着用は可とする。

６．選手は、必ず同じ色・形のユニフォーム及びソックス（安全上くるぶしが見えるものは不可）を着用すること。袖のないユニフォームは選手の安全性を考慮し禁止とする。

７．ベンチには、必要なもの・飲料水（水筒・ペットボトルは不可）・タオル・救急用具以外のものは持ち込まないこと。応援用のものは持ち込みしない。ただし、大人のペットボトルの使用は構わない。

８．試合中にコートが汗で濡れた場合は、コート上の選手が速やかに拭くこと。なお、必要がある場合はタイムアウト・セット間の中断時にコート上をモップがけすることができる。

９.セーフティータイムアウト（ＳＴＯ）は以下のように設定する。

① １～２セットはリードするチームが、11 点に達した時、デュースが続く場合は両チームが 25 点に達した時に適用し、その後は両チームが 10 点ずつ積み重ねた段階で適用する。

② ３セット目はリードするチームが、8 点に達した時にチェンジコート後に適用する。デュースが続く場合は両チームが 21 点に達した時に適用し、その後は両チームが 7 点ずつ積み重ねた段階で適用する。

10. 試合開始前及び試合終了時は、両チームがエンドラインに整列し、挨拶（礼をする）後にセンターラインまで進み出て、お互いに握手をしてベンチに戻る。

11. 試合終了後は、速やかにベンチを空ける。

12. 上記以外の競技に関することについては、各会場の競技責任者の判断による。

＜審判上の注意事項＞

１．試合の開始前、終了時には監督・選手・審判はお互いに握手を行なう。

２． セーフティタイムアウトは選手の健康と安全に配慮したタイムアウトであり、選手は給水または休息する。

３．インターバル（セット間）は、３分を計時する。コートチェンジは、コートメンバーはエンドラインに整列後、コートに向かって右側の支柱の外側を進みベンチに戻る。

４．大会一日目の審判については参加チームで、ファーストレフリー・セカンドレフリー・スコアラー・ラインジャッジを担当する。

６．上記以外の審判に関することについては、各会場の審判責任者の判断による。